

「SDGs をめぐる現実と思想」によせて

恒木 健太郎

“*Let my People go surfing.*”『社員をサーフィンに行かせよう』。そんな洒落たタイトルの本が出たのは、2005年のことだった。あの『ショック・ドクトリン』で惨事便乗型資本主義の闇を告発したナオミ・クラインが序文を寄せ、2016年に新版が発刊される。

この本の著者はイヴォン・シュイナード (Yvon Chouinard)。現在、アパレル部門と食品部門をおく企業であるパタゴニア (Patagonia) の創業者兼オーナーである。徹底して環境に負荷をかけない衣服等の生産にこだわり、利益の一部を環境保護運動の支援に使う。ビジネスパーソンとして生きる自分を恥じ、ビジネスパーソンとして生きる自分の責任を全うすべく、自ら動き、市民を、他社を動かす。その倫理観と実践的行動＝「実験」は、一切の多国籍企業のアピールに対して「グリーン・ウォッシング」を疑ってやまないクラインの心さえも掴んでしまったようである。

この書物が生まれる前年に、国連総会で重要な合意がなされた。それが SDGs=Sustainable Development Goals である。日本語で私は「持続可能な成長目標」と訳すが、一般には「持続可能な開発目標」と訳される、この目標である。ここにおいて、同時多発的に絡みあうカネ・ヒト・地球の問題の解決の方策について、この先もずっとこの地球上に住み続け、人類が繁栄していくために、世界が行わねばならないことの骨格を最低限のかたちで組み上げたのが SDGs である。そのように、SDGs 研究の第一人者のひとりである蟹江憲史は述べる。SDGs の概要は、中公新書で 2020 年に発刊された『SDGs (持続可能な開発目標)』において通観できる。そこではその骨格形成の背景や企業および自治体の実践活動がモデル的に紹介されており、じつによくできた入門書となっている。

SDGs はこの数年であつという間に普及し、企業も自治体もいかなる組織もこの言葉を掲げるようになっていく。しかし、そもそもこの sustainable development (持続可能な開発) なる概念について、まさに SDGs 企業の最先端をいくかにみえるパタゴニアのシュイナードは、むしろ懐疑的である。「『持続可能』という言葉は、『グルメ』や『冒険』などと同じく、いたるところでおかしな使い方をされた結果、無意味に墮してしまった。持続可能な開発と言われるものは持続可能などではないし、特においしくもないのにグルメハンバーガーとして売られているものがあつたりする。辞書によると冒険には要素として危険が含まれているはずだが、ちまたにあふれているのは危険など伴わない冒険旅行ばかりである」。

蟹江は SDGs を「未来の世界のかたち」だと主張する。17 の目標と 169 のターゲットに分節

化されたその骨格は、果たして6年のときを経てその誕生と同時期に投げかけられていたシュイナードの批判に応えうるものとなり得ているのか。また、それがシュイナードの批判に応えうる質をもつものである（ないしありうる）とすれば、いかなる可能性があるのか。さらにいえば、SDGsが無理筋であるというのであれば、そのオルタナティブはいかなるところに求められるのか。そして、それは現実的に可能なのか、可能だとすればいかなる実践が必要なのか。

こうした問いに答えるためには、SDGsの理念と現実の正確な把握に基づかねばならない。今回の3編の報告はその課題に取り組むために重要な論点を立てている。そして、コメンテーターには、国際法・国際経済に通暁しておられるお二方をお願いした。SDGsという枠組みがもたらしたもの、そしてこれからもたらすもの、それを的確に見定めるべく、本特集は組まれた。その内容は今年1月29日に開催した本研究所主催のシンポジウムを基にしている。実際の報告と討議については本研究所によりYouTubeにて公開されている。そちらも併せてご覧になりたい (<https://youtu.be/sYlleBljx5k>)。

この特集を通じて、SDGsについての基本的かつ重要な諸論点が把握され、今後のSDGsのあり方について（その実践も含めて）検討する一助となることを期待し、本特集号をお届けすることにする。

[編集部註]：斎藤幸平論文のみ、執筆者の意向で電子媒体での公開はせず、紙媒体での公開のみとする。

参考文献

- Chouinard, Yvon [2016]. *let my people go surfing: The Education of a Reluctant Businessman Including 10 More Years of Business Unusual*, Penguin Books, New York. 井口耕二訳『社員をサーフィンに行かせよう：パタゴニア経営のすべて』ダイヤモンド社。
- 蟹江憲史 [2020] 『SDGs（持続可能な開発目標）』中公新書。